

# 大町労山だより

2018年 3月号 VOL4・NO48 3・8 発行

議論しましょう!!

“安く 楽しく 安全に” 登山するには……

大町労山の第52回定期総会を3月18日(日)に開催します。

総会は1年の活動を振り返り、新たな1年の方針を決める重要な会議です。日程を調整し是非参加して下さい。

行きたい山、会を楽しくする方法、会を運営するに重要な柱となる財政や機関紙について、会員の拡大について、トレーニング・訓練について等々、議論の種はたくさんあります。

今年も前日(17日)の里山山行、山岳総合センターでの泊まり込み交流会、総会後の講演会を計画しています。

“安く 楽しく 安全に” “登山するには……議論しましょう。考えましょう!”

会長：谷口伸二



## 雪洞訓練 in 白馬ハイランド 2月24日(土)

報告者；有岡耕三

参加者；8名(日帰り8)

五十畑・古畑夫妻・鈴木  
・谷口・鶴川栄子・細田



ハイランドスキー場跡の訓練予定地へ向けていざ出発。スキー・スノーシュー・ワカンと足元は各々で異なるのさえ、私には珍しい光景で、スキーで登り斜面をどうやって歩くだらう……という所から勉強になりました。



① 斜面の雪が少しでも深い所を探して雪洞掘りを始める。1m強の積雪量だったが何とか入りそう。谷口会長を始めとして皆楽しんで掘っていました。3~4人は入れる雪洞を2つ掘っただけでは足りず「真ん中にもう1つ掘ってつなげよう」……女性陣のパワーと乙女心？ 子供心？に圧倒された男性陣でした。



## 雪洞訓練を終えて

鈴木 均

今回の雪洞づくり訓練は、昨年鹿島槍スキー場から黒沢尾根に登った時、雪洞跡がいくつかあったのを見て、参加者の中からつくってみたいとの意見があり、ぜひ来年やってみようということで計画した。

参加者は8名だったが、泊まれるのは2名のみだったので、金と時間もかけてわざわざ黒沢尾根まで行かなくても、雪さえあればいいと場所を探した。積雪量が若干の不安はあったが、駐車場の心配がなく、アクセスの良いソノランドスキー場跡でやることにした。

訓練のメニューは、すべてできるはずがないことは承知の上で一応下表を計画し、2班に分けて、できるところまで順にやろうと決めた。また、できれば雪洞に実際にマット・シュラフを敷いて寝てみる、雪から水をつくってラーメンを食べるといった想定だった。

二つの予定が横穴の雪洞を三つ作り、それを繋いだりして約2時間費やし、ちょうど昼休憩にした。残念ながら積雪は1m20cmくらいしかなく、また斜面を利用したため決して快適な雪洞にはならず、多人数が寝るには厳しかった。

その後は縦穴雪洞など、十分な時間的余裕を持ってできたとは言えないが、結論的には、1・2と4から7まで概ね実践することができた。(もともと7まですべてやることは無理を承知での計画で、昼以外はほとんど休憩なしだった) スコップさえあれば縦穴式雪洞は、もっとも時間的に早くできることもわかった。また、メンバーが「これは使える！」と異口同音に言ったのはスノーマウントであった。イグルーは、堅雪でブロックに切ることが必要だということもみなさん納得した。

- |                      |
|----------------------|
| 1、横穴式雪洞              |
| 2、縦穴式雪洞              |
| 3、半雪洞                |
| 4、樹木周辺での雪洞           |
| 5、スノーマウント            |
| 6、イグルー               |
| 7、ツェルト               |
| 8、ムンターヒッチによる懸垂下降     |
| 9、ムンターヒッチ確保による登り下り   |
| 10、ビーコン操作            |
| 11、雪壁乗り越し(固い雪の急斜面歩行) |
| 12、滑落停止              |

今回の雪洞づくりでもう一つ考えたのは、1月末の妙高アライリゾートでの滋賀県の医師父子(68・40歳)が遭難したとき、県警は「穴を掘るように」と指示したようだったが、ゲレンデスキーで何の装備もない中で、どう一夜を明かすことができるのかを想定することでもあった。

実際にやってみてスキー板で穴を掘ることは不可能だった。それなら手で掘るしかない。新雪ならある程度掘れるだろうが、スコップもツェルトも持っていきはざがないゲレンデスキーヤーにとってビバークは想定しない。山スキーではビーコン・プローブ・スコップは3種の神器というほど必需品であり、さらに銀マットとエマージェンシーシート、ツェルトが

ここまでで約2時間。完成後に天井を突き破ってハイパチリ。

昼食後に、②縦穴+ツェルト、③スノーマウント(ザックをツェルトで覆って雪を乗せ固めた後、ザックを取り出す方法)、④イグルー(雪のブロックを積み上げる方法)、⑤木の根元を掘ってビバークする方法などを練習して、雪洞訓練を無事終了しました。

これまで、雪国体験はスキーしか知らない私(有岡)にとっては、全てが初めての体験でした。これまでは、雪(冬山)と岩(ロッククライミング)は避けてきましたが、事前の訓練・模擬体験をした上で、安全想定出来る範囲でなら、楽しい山登りに加える事が出来るのかなとも思った次第です。

鈴木さんありがとうございました。



必要である。もちろん若干の食料とガスセットもなければならない。

アライリゾートは梅池スキー場とほぼ同面積だが、かなりの面積をオフピステ（非圧雪）にしているようだ。従って、吹雪いたりしたらゲレンデ内外の区別が付きにくいのかもかもしれない。アライリゾートは14年ぶり、今シーズン再開業だから、スキーヤーのほとんどは初めて滑るわけで、荒天の場合は相当気をつけなければならないということだろう。

私は何年も前に八甲田を滑ったことがあるが、ゲレンデとはいえ、オフピステに近く、吹雪の中を自然に近い環境で大変な経験をしたことがある。初めて広大なスキー場に入る場合は、かなり慎重さが求められる。ずいぶん以前のことだが、八方スキー場を初めて滑った知人が、下山を間違えて迷った末、当時携帯電話も持っていなかったので警察のお世話になったこともあった。

メンバーの半分は、雪洞をつくったことがなく、たいていの人は雪洞といえば横穴しかイメージしないが、スノーマウントを含めてビバークを想定した今回の訓練は、それなりに有効だったと思われる。時間的に余裕がないため、昼以外にほとんど休憩せずに密度濃くやり、完璧にできたとは言えないが、7までは大筋終えることができた。できれば一夜を明かしたいところだったが、来年以降に検討しよう。

なお、ヒヤリハットというほどではないが、自分の失敗と教訓を補足する。

一つは、私はわかんで登って作業をしていたが、雪洞付近の斜面で片方のわかんを雪の中に潜らせはずれてしまい、気がつくのが遅くなって発見できなかったこと。雪解けを待って「捜索」に行く。もう一つは、共同装備の配分である。プローブ・スノーソー・スノーバーなどをAさんに持ってもらったつもりが、結果的にはIさんが持っていたことが後からわかった。訓練場所を調べるのに、プローブで積雪深を測ろうとしてAさんにプローブを確認したら持っていないという。これは困った。Kさん、Iさんがスキーで少しだけ先に登っており、ホイッスルでストップしてもらい、Iさんがプローブを持っているか尋ねた。幸いIさんが自分のプローブを持ってきており、それを借りた。結果的に私のプローブもIさんが持っていたのだが、意思疎通ができていなかった。今回は訓練でよかったが、実践に必要な装備を忘れてたり、共同装備を誰が持っているか確認しないまま入山したりすると、雪山では命取りになりかねない。今回は、私自身の失敗である。

今回の雪洞づくりは、少なくとも私が知る限り、会としてはこれまでにない内容であったと思う。「この歳になって訓練したくない」「雪山には行かないから」「ツェルトは持っているが、使ったことがない」という会員もいるだろうが、訓練とは何か、訓練はなぜ必要か、もう一度考えてもいいのではないだろうか。一度でもツェルトを張ってビバークの経験（訓練）をしておくことは、絶対に必要であると個人的には思っている。ビバーク訓練をやっている会もある。

■半雪洞とツェルトの併用



■樹木の周辺の穴を使う



■縦穴式雪洞



## スノーマウントの作り方↓



## 伊那富士・戸倉山(1680.7m) 2月11日

報告者；勝野秀次郎 参加者；松本芳山2, 駒ヶ根芳山1, 佐久芳山, 他 計5  
登山口 10:30-12:25 山頂(西峰)・昼食 13:30-13:40 東峰 13:45

-13:55 西峰 14:00-15:00 登山口

松本芳山のSさん, Hさん, 元松本芳山のNさん, 佐久山の会Aさん, 駒ヶ根芳山のT氏の6名で一日楽しく交流しました。

山頂より10mくらい下がった所にある立派な避難小屋にて昼食。休憩後東峰へ(往復とも各10分)。どちらも展望は抜群でした。天気はとてもよかったです、仙丈岳の山頂は残念ながら雲が取れず見えませんでした。西峰を14:00に出て登山口15:00着でした。

雪は駐車場で10cm、山頂で20cmくらいでした。登山道はしっかり整備され、途中3ヶ所に立派なベンチがありました。

伊那富士と呼ばれるだけあって、とても素晴らしい山でした。年中、いつでも

誰でも登れる山です。駒ヶ根芳山のホームゲレンデだそうで、会行事として毎年春に、焼きいもとトン汁山行をしているので、それに大町からもみんなで参加しませんか！

夜、伊那のSさん宅で鍋を囲んで5人で0時過ぎまで大いに盛り上がりました。



## 例会報告

### 1; 山行・行事実績、て……2月11日~3月10日

- ① 2月11日(日)~12日(月) 伊那戸倉山：勝野+4
- ② 2月14日(水) 中山高原スノーハイク：鶴川栄子・宮島・森田
- ③ 2月17日(土) 奈良わさび谷アイスクライミング：鈴木+10(大阪)
- ④ 2月18日(日) 中山高原スノーハイク：古畑文子・鶴川栄子・細田
- ⑤ 2月24日(土) ハイランドスキー場跡雪洞訓練：  
有岡・五十畑・古畑夫妻・鈴木・谷口・鶴川栄子・細田

- ⑥ 3月4日(日) 県連総会：代議員：鈴木・谷口／理事：尾形・横田  
／監査：小山
- ⑦ 3月4日(日) 役員会：尾形・桑原・小山・鈴木・谷口・鶴川栄子・横田・宮島
- ⑧ 3月6日(日) 役員会：尾形・桑原・鈴木・谷口・鶴川栄子・宮島

### 2; 山行・行事予定

- ① 3月12日(月) 飯縄山
- ② 3月17日(土) 虚空蔵山 同夜：懇親会(山岳センター宿泊可)
- ③ 3月18日(日) 年次総会・講演会
- ④ 3月21日(祝) 十石山を予定
- ⑤ 3月25日(日) 雪崩訓練
- ⑥ 4月8日(日) 角田山
- ⑦ 4月15日(日) 爺ヶ岳南尾根
- ⑧ 4月29日(日) 小日向山
- ⑨ 5月3日(祝) ~4日(休) 火打山

### 3; 個人山行・ツアー等

- ① 4月4日(水)~9日(月) しまなみ海道と瀬戸の島旅 森田ほか

### 4; 総会関係

当日は8時集合、時間厳守のこと。集合時に年会費9600円を収めて下さい。  
お釣りが要らないようにして、名前を記入した封筒等に入れて下さい。

## ご協力 ご鞭撻 ありがとうございました 機関紙担当より

4年間にわたって機関紙担当を務めさせて頂きましたが、今月号の発行をもって任務を終了することとなりました。

2015年の11月に休刊があり、翌12月号を20・21号合併号としましたので、実質的には47号ですが、それ以外は各月ごとの会員諸氏の活動をお伝えすることができたものと自負しています。

ひとえにみな様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

次期担当の元に、装い新たな機関紙が発刊されますことを祈念し、御礼の挨拶と致します。ご協力、ご支援ありがとうございました。これからは投稿者として参加できることを楽しみにしています。 森田 義彦

